



ICE100

取扱説明書

Ver1.02



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Antari 社製 の Fogマシン、ICE100 をお買い上げいただき誠に有難う御座います。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくためにご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。なお、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 本製品は屋内使用専用です。屋外で使用しないで下さい。また、火災や感電の原因となる為、湿気の多い場所での使用はお止め下さい。
3. アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを抜いてから行って下さい。
4. タンクに Fogリキッドを注入する際は必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
5. 本体を平面に設置して使用して下さい。
6. 本体を使用しない時は電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
7. 本製品は防水、防沫仕様ではありません。万が一、水や Fogリキッドが本体内部に入った場合は、速やかに本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、販売店または正規代理店に連絡して下さい。
8. 本製品は使用中に噴出ノズルが非常に熱くなりますので、人や動物に直接ノズルを向けることはやめて下さい。
9. 本製品を使用中にノズルから 60cm の範囲に入らないで下さい。やけどする恐れがあります。
10. 本製品は風通しの良い場所に設置して下さい。また本体に搭載された空気口は塞がないで下さい。尚、適切な換気を得る為に本体から最低 20cm 以内に物を置かないようにして下さい。
11. 可燃性の液体を Fogリキッドに混入することは絶対にやめて下さい。
12. 本製品には高品質な水性 Fogリキッドのみを使用して下さい。低品質のリキッドを使用するとポンプやヒーター等の内部パーツが詰まったり、故障に繋がったりする恐れがあります。
13. 本体を移動させる際は必ずタンク内の Fogリキッドを空にして下さい。
14. 安全の為、本製品に付属された電源ケーブルのみを使用して下さい。
15. AC100V、50/60Hz にてご使用下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが、必ず販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本設定

- 本製品を箱から出して、全ての梱包材を取り出して下さい。
- フォグマシンを平面に設置し、リキッドタンクの蓋を外して下さい。
- 通常の氷、またはドライアイスを本体前面のタンクに入れて下さい。最大 8kg までの氷、またはドライアイスを入れることができます。
- リキッドタンクにフォグリキッドを注入し、蓋を締めて下さい。本製品には必ず高品質のフォグリキッドのみを使用して下さい。
- タンクがいっぱいになったら蓋をして下さい。この際必要以上の力を加えないで下さい。
- 本体の背面に搭載された端子にリモートコントローラーを接続して下さい。
- 排水チューブを取り付けて下さい。

基本操作

- アース結線可能な電源コンセントに本体の電源ケーブルを接続して、本体背面に搭載された電源スイッチをオンにして下さい。電源がオンの状態の時にリモートコントローラー上の緑のライトが点滅します。
- 本体がウォームアップ状態に入ります。ウォームアップが完了すると、リモートコントローラーの緑のライトが点灯し、フォグを出力する準備が完了したことを示します。
- リモートコントローラーの緑ボタンを押すとフォグが出力され、ボタンを離すと停止します。
- 使用時は常にフォグリキッドの残量を確認して下さい。

※フォグリキッドが空の状態ではフォグマシンを動作させると本体を損傷させる恐れがあります。使用時は常にフォグリキッドの残量を確認して下さい。

稀に本体が「ウォームアップしない」、「出力が低い」、「ポンプノイズが発生する」、または「全くフォグが出力されない」等の症状が出る事があります。この場合は直ちに電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。リキッドの残量、ヒューズ、リモートコントローラーと本体との接続、使用電源等チェックし、問題が無ければ再度電源ケーブルをコンセントに繋いで下さい。本体のウォームアップが完了し（約 3 分間）、再度リモートコントローラーのボタンを押してフォグが出力されない場合は直ちに電源ケーブルを抜き、販売店または正規代理店に連絡して下さい。

本製品を使用する際の確認事項

- 全てのフォグマシンはフォグの出力とウォームアップを繰り返します。長い期間フォグを出力したあとはウォームアップに入るまでに時間が少しかかる場合があります。本体がウォームアップしている間はフォグは出力できませんので注意して下さい。
- 全てのフォグマシンは動作している間、また動作終了後、約 1 分間は少量のフォグを出力します。

メンテナンス

フォグマシンはヒーターユニットの目詰まりで出力できなくなる可能性があります。ヒーターユニットの目詰まりの際は、保障対象外となります。下記注意点を留意することで、商品の対応寿命を延ばすことが可能です。

使用しない際には電源をオフにしてください。常時電源をオンの状態ですと、ヒートアップとクーリングを行っており目詰まりの原因となります。古いフォグリキッドや他の液体が混ざったフォグリキッド等は決して使用しないで下さい。

フォグリキッドをタンクに注入後、すぐにタンクとフォグリキッドのボトルの蓋を締めるようにして下さい。本体内部ヒーター部品等に混入物などが堆積しないよう、使用時間 40 時間毎、または長期間使用しない場合など保管の際には、洗浄剤（蒸留水：80%、酢：20%）をタンクに入れ内部洗浄を行う必要があります。

洗浄方法は以下に従って下さい。

- ①タンクを空にした上、上記の洗浄剤をタンクに注入して本体の電源をオンにして下さい。本体がウォームアップを開始します。
- ②タンク内の洗浄剤が少なくなるまで本体を換気の良い場所で動作させて下さい。この際、タンクが空にならないようにご注意下さい。
- ③これにて洗浄作業は完了です。フォグリキッドを再度注入し、本体を少しの間動作させて下さい。これによりポンプ、ヒーター内に残っている洗浄剤を出力させる事ができます。
※絶対にタンクが空の状態ではフォグマシンを動作させないで下さい。
長期間本体を使用しない場合は、フォグリキッドを抜き出し保管してください。

リモートコントローラー

Z-8 ワイヤード・リモートコントローラー（本体付属）

4ピン XLR 仕様の 10m ワイヤード・リモートコントローラーです。コントローラー上に搭載された 2 つのノブによって出力時間とインターバル時間を調節することが可能です。黄色い TIMERS ボタンを押すとタイマー機能をオンにします。INTERVAL ノブは 10 秒～5 分の範囲でフォグ出力の間隔を調節することができます。また DURATION ノブは 1～10 秒の範囲でフォグの出力時間を調節することが可能です。緑色の MANUAL ボタンを押すとその他の全ての機能より優先され、フォグの出力が最大に設定されます。赤色の CONTINUOUS ボタンを押すと連続してフォグが出力されます。

Z-9 ワイヤレス・リモートコントローラー（オプション）

5ピン XLR 仕様のワイヤレス・リモートコントローラーです。最大約 50m までの範囲内で使用することが可能です。

DMX 設定

ICE100 は DMX 機能を搭載しており、フォグ出力を外部 DMX コントローラーなどで操作することが可能です。DMX の設定は以下を参照して下さい。

- ディップスイッチでアドレス設定を行います。DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。
- 1DMX チャンネルで動作し DMX 値 0~5 はオフ、6~249 は 5%~95%出力となり、250~255 は最大出力となります。

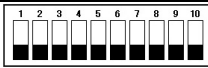
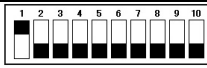


通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは、0~9 を使って数字を表し、10 になったら位を上げるという考え方です。二進法とは、0 もしくは 1 を使って数字を表し、2 になったら位を上げるという考え方です。





例をあげると



| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|----|----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 十進法 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 二進法 | 0 | 1 | 10 | 11 | 100 | 101 | 110 | 111 | 1000 | 1001 | 1010 | 1011 |

この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『0=OFF 1=ON』の考え方になります。

スイッチの設定上 ON/OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合

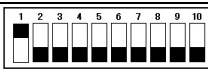



| | | | | |
|----------|--|--|---|--|
| 十進法 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 二進法 | 0 | 1 | 10 | 11 |
| ディップスイッチ |  |  |  |  |

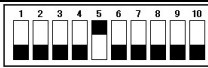
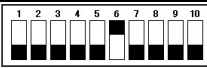
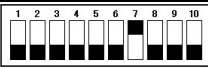

| | | | | |
|----------|---|---|--|---|
| 十進法 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 二進法 | 100 | 101 | 110 | 111 |
| ディップスイッチ |  |  |  |  |



| | | |
|----------|---|---|
| 十進法 | 8 | 9 |
| 二進法 | 1000 | 1001 |
| ディップスイッチ |  |  |

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。

各番号のスイッチのみ ON にした場合

| | | | | |
|----------|---|---|--|---|
| 十進法 | 1 | 2 | 4 | 8 |
| 二進法 | 1 | 10 | 100 | 1000 |
| ディップスイッチ |  |  |  |  |

| | | | | |
|------|---|---|--|---|
| 十進法 | 16 | 32 | 64 | 128 |
| 二進法 | 10000 | 100000 | 1000000 | 10000000 |
| スイッチ |  |  |  |  |

| | | |
|------|---|---|
| 十進法 | 256 | 512 |
| 二進法 | 100000000 | 1000000000 |
| スイッチ |  |  |

以上のように、通常の 10 進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。

またその場合、全ての計算において、『設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 の数字に分解して考える必要があります。

例にとってみると

チャンネルを 40 に設定したい場合：

$$40 = 32 + 8 = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

チャンネルを 62 に設定したい場合：

$$62 = 32 + 16 + 8 + 4 + 2$$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square & \square \\ \hline \end{array}$$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \square \\ \hline \end{array}$$

この様にして、簡単にチャンネル数を設定する事が可能となります。

| 製品仕様 | |
|-----------|---------------------------|
| 製品名 | ICE100 |
| 使用電源 | AC100V、50/60Hz |
| ヒーター | 1,000W |
| 出力 | 283.2 m ³ /分 |
| ヒートアップタイム | 4～5 分 |
| リキッド消費量 | 40 分/リットル |
| タンク容量 | 2.5 リットル |
| 付属品 | Z-8 リモートコントローラー |
| 重量 | 24.4kg |
| サイズ | 35.5(W)×35.9(H)×61.7(D)cm |



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内(ご購入より1年間)において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當(例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等) ために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災(火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等)による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合(例：発電機などの使用による異常電圧変動)
8. 消耗部品(電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等)の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合(例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等)
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます(下記RA番号が必要です)。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号(返品承認番号)

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください(お客様のご負担の場合はどの便でも結構です)。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害(周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害)に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。